

# しまおか 市議会だより

Shizuoka City Council News

[https://www.city.shizuoka.lg.jp/000\\_000260.html](https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000260.html)

令和3年11月定例会号[No.81] 発行日/令和4年(2022年)2月1日

## 市議会議員と話そう！ 高校生との意見交換会開催

静岡市議会では若者の生の声を聴くため、高校生との意見交換会を行っています。3年度は、10月、11月に各1校、12月に3校の生徒の皆さんと、それぞれの学校から提案のあったテーマについて、活発な意見交換が行われました。(12月開催分は6面に掲載)

### 静岡県立 清水南高校 11月5日開催



◆地域の活性化  
SNSを使った商店街の情報発信が重要だと思おう。地元のPRを行うには、まずは自分たちが地元をよく知ることが必要。



### ◆自然災害への対策 と学校生活

◆学校で防災委員会を組織し、意識を高めている。  
◆災害時は避難所の感染症対策も必要。

◆大会などが中止となっている運動部だけでなく、文化祭の中止などで発表の場が減っている文化部のことも知ってほしい。



### 静岡県立 静岡商業高校 10月15日開催



◆地元の小学生と協力して花壇に花を増やしてきれいにし、商店街の雰囲気明るくするのはどうか。

◆持続可能な商店街を目指して、私たちができることを



◆高校生がイベントを主催し、特産品を販売してはどうか。

### ◆住み続けられるまちづくり 商店街の空き店舗を利用し、地場産品を使ったコミュニティカフェを作りたい。



◆商店街の空き店舗を利用し、地場産品を使ったコミュニティカフェを作りたい。



このほかに実施した3校の意見交換会の様子については6面をご覧ください。

## 11月定例会日程

会期 25日間(11月22日～12月16日)

11月22日	本会議(開会)	会期決定、人事関連議案上程～表決、当初提出議案上程・説明
11月29日	本会議	追加提出議案上程～表決
12月1日、2日	本会議(総括質問)	議案及び市政全般について質問
12月3日	本会議(総括質問)	議案及び市政全般について質問、当初提出議案委員会付託追加提出議案上程・説明・質疑・委員会付託
12月7日、8日	常任委員会	議案等審査
12月15日	本会議	議案上程・委員長報告・質疑・討論・表決追加提出議案上程・説明・質疑・委員会付託
	市民環境教育委員会	議案等審査
12月16日	本会議	議案上程・委員長報告・質疑・討論・表決、会期の延長
	本会議	追加提出議案上程・説明・質疑・委員会付託省略・討論・表決

### 11月定例会のあらまし

令和3年度一般会計補正予算案を可決  
令和3年11月22日から12月16日までの25日間にわたって11月定例会を開催しました。

定例会では、新型コロナウイルス感染症対策として、3回目のワクチン接種等に要する経費や、子育て世帯、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金支給に要する経費を計上した令和3年度一般会計補正予算のほか、静岡市文化財資料館条例の廃止についてなどの議案30件、請願3件を審議しました。  
12月1、2、3日には、代表質問(2面掲載)と、13名の議員による個人質問(3、4面掲載)を行いました。  
12月15日の本会議では12月7、8日に開催した各常任委員会の審査結果が報告されたほか(5面掲載)、12月8日の厚生委員会と都市建設委員会での提出・審査されたJCHOとの土地交換に係る差額の受け入れに伴う歳入歳出予算を削除する修正案が改めて提出されました(4面掲載)。表決の結果、修正案については賛成少数で否決し、すべての議案を全会一致または賛成多数で可決しました(5面掲載)。また、12月15日の本会議で会期を一日延長し、16日の本会議最終日には、令和3年度一般会計補正予算(第7号)を審議し、全会一致で可決しました(5面掲載)。

## 目次

高校生との意見交換会、11月定例会のあらましなど	1面
代表質問	2面
個人質問、主な議案	3、4面
常任委員長報告、会派別賛否一覧	5面
高校生との意見交換会、次回定例会のお知らせなど	6面



代表質問

令和3年12月1日、代表質問を行いました。静岡市議会では、4人以上の議員が所属する会派は代表質問を行うことができます。代表質問では各会派の政策理念などが表明されます。これまでは2月定例会と市長の所信表明が行われる定例会で行うことになっていましたが、各会派の意見を市民に表明する機会を増やすなどの理由により、令和3年9月定例会、11月定例会においても試行的に代表質問を行うこととしました。

自由民主党静岡市議会議員団

良好な生活環境を守るための条例づくり

Q 会派主催の勉強会で、いわゆるごみ屋敷や管理が不適切な状態のまま放置されている老朽家屋について、衛生上、防災上、防犯上の懸念を抱えている自治会役員の方々から、長年にわたる困難と深刻な状況について切実な意見を聞いた。こうした意見を受け、自民党市議団では、地域における良好な生活環境を守るための条例の素案を作成し、市長に提案した。そこで、良好な市民生活環境を守るための条例を1年以内に成立させる考えはあるか。



丹沢 卓久 議員

A 根拠法令がなく踏み込んだ対応ができないこともある。今回の質問を機に、市民が快適な生活環境を確保できるように、条例制定に向け速やかにプロジェクトチームを立ち上げ検討を進める。具体的には、不良な生活環境に係る相談内容を整理し、既存の法令等では対応できない課題の洗い出しや、先行する都市の条例を十分に調査・研究し、有識者の意見も聴きながら、4年度中を目途に、問題解決に向け実効性の高い条例制定を目指す。

その他の質問 ・市長の政治姿勢 ・大浜公園再整備事業 ・桜ヶ丘病院の移転 など

創生静岡

市主催による住民説明会の開催意向

Q 桜ヶ丘病院の移転・新築問題が長期化する中、基本協定書で定めた病院の移転先について市民は厳しい目を向けている。特に、現状に対する市の説明がないとの声が多く上がっている。移転する理由や移転先のメリット、将来性や病院を含めたまちづくり構想などについて、市として説明会を開催する考えはあるか。



栗田 裕之 議員

A 説明会を開催する考えはない。ただし、この問題については丁寧な説明を心がけており、議会答弁や定例記者会見、広報紙などで説明してきた。また、市民とJCHOとの橋渡し役として、新病院に対する期待、津波に対する不安、市民への情報発信の必要性などをJCHOに伝え、これらへの対応を働きかけてきた。その結果、内科系救急の受入れ体制維持を最優先とすることや、建設費の20%程度を災害対策に充てること、ヘリコプターのホバリングスペース設置などが示され、さらに病院主催の説明会が開催された。引き続き、清水地域の皆さんが安心して暮らせるよう、JCHOの取組を全力で支援していく。

その他の質問 ・第3次静岡市総合計画 ・清水病院 ・道の駅構想 など

志政会

小学校高学年教科担任制の現状と今後

Q 国は、外国語の他に理科・算数・体育等でも小学校高学年における教科担任制の導入を推進しようとしている。本市では英語の専科指導を進めているが、国の動きを踏まえて、現状と今後についてどのように考えているか。



小山 悟 議員

A 教科担任制は、専門性の高い教科指導を行うとともに、教員の授業時間数の軽減にもつながる重要な施策である。現在、静岡型小中一貫教育のねらいであるグローバル人材育成につながる英語力の向上に向け、小学校の外国語の授業で専科教員による教科担任制を進めたい。

その他の質問 ・新型コロナ関連対策 ・救急医療体制 ・教育課題 など

公明党静岡市議会

SDGsの取組と目指す姿

Q アジア唯一のSDGsハブ都市である本市は、SDGsの啓発に特に力を入れ、他都市と比較してもその認知度が高いが、これまでの取組と評価はどうか。また、4次総ではどのような取り組みか。加えて、本市として2030年の取組の目指す姿をどう考えるか。



井上 智仁 議員

A これまで「T.G.C.」しずおかや様々な団体と連携したイベント開催など普及啓発に取り組んだ結果、令和3年3月のSDGsの市民認知度は、全国平均より20%以上高い66%となった。また、本市独自のSDGs宣言事業により、事業者同士の連携が生まれるなど、これまでの取組に手ごたえを感じている。4次総では、計画の策定段階からSDGsを組み込み、達成度を世界基準の指標で評価し、国内外へ情報発信していき、2030年の本市の目指す姿は、安全安心な社会環境のもと市民一人ひとりが輝き、かつ、地域資源を磨き輝かせ、世界中から人が集まってくる活力あるまちである。SDGsのゴール17の「パートナーシップ」を重視し、公民連携で実現を目指していく。

その他の質問 ・財政の健全化 ・コロナウイルス感染症対策 ・コロナ禍における職員の意識 など

日本共産党静岡市議会議員団

人口維持目標の総括とこれから

Q 3次総の人口目標として、2025年に総人口70万人維持を掲げてきたが、達成不可の要因は何か。4次総では人口維持目標をどう考え、何に重点的に取り組むか。また3次総の70万人維持目標を撤回し、5大構想を見直す考えはあるか。



寺尾 昭 議員

A 3次総では総人口70万人維持という高い目標を設定し、世界に輝く静岡の実現に邁進してきたが、少子高齢化による自然減や東京一極集中などにより、令和2年国勢調査では50年ぶりに人口70万人を下回った。中長期的に人口減少は避けられないことから、4次総でもと取組を継続していく。

その他の質問 ・3回目のワクチン接種 ・新型コロナ感染終息に向けて など

語句説明

基本協定書

令和2年12月21日に静岡市とJCHOが、新病院の移転地や規模、着工や開院の時期など、移転に関して必要となる基本的事項を定めることを目的として締結した「独立行政法人地域医療機能推進機構桜ヶ丘病院の移転に関する独立行政法人地域医療機能推進機構と静岡市との基本協定書」のこと。

静岡型小中一貫教育

小学校と中学校が、地域・保護者と「目指す子どもの姿」を共有し、9年間連続して学べる地域の特色ある教育を通して、地域と連携して『たくましく しなやかな子どもたち』の実現を目指す取組。

グローバル人材

世界的な規模で考えて、身近なところから行動することができる人材。

小学校の外国語の授業

2年度から全面実施の小学校学習指導要領により、小学校高学年の外国語の教科化や、小学校中学年での外国語活動が行われている。(静岡市を含むほとんどの自治体が外国語の授業に英語を採用している。)

新学習指導要領

全国のどの地域でも一定水準の教育を受けることができるようにするため、学校教育法に基づき、各学校で教育課程(カリキュラム)を編成する際の基準として示されたもの。新学習指導要領は小学校では2年度から、中学校では3年度から全面实施している。

TGC

「TOKYO GIRLS COLLECTION」の略。女性活躍を推進し、世界に日本のカルチャーを発信している大型ファッションイベント。静岡市では開催都市で唯一「SDGs推進」を掲げ、2019年、2020年に開催された。

3次総 4次総

それぞれ、第3次静岡市総合計画、第4次静岡市総合計画の略称。総合計画は、長期的な視野に立つてまちづくりの方向性を示す市政運営の最も基本となる計画であり、計画期間は3次総が2015年度から2022年度、4次総はそれに続く2023年度から2030年度。



ホームページで録画映像をご覧いただけます。



# 個人質問



令和3年12月2日、3日の2日間、13人の議員が個人質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

## 新スマートICと両河内地区の活性化

質問者 宮城島 史人(志政会)

市長が両河内地区の経済活性化や防災の切り札と位置付ける新スマートICの新設は、当地区を活かす最大のチャンスと考えるが、交流人口増加に向けてどのように地域の魅力を高めていくのか。

【答弁】 両河内地区の交流人口の増加につなげるため、当地区の自然や豊富な農産物を体感するアクティビティの充実を図るなど、地域資源の磨き上げを推進していく。また、森林公園や温泉施設などの代表的な交流施設の魅力向上と合わせ、首都圏や中京圏、甲信越地方へのプロモーションなどにより賑わいが生まれるよう検討していく。現在、第4次静岡市総合計画において、「持続可能な中山間地の形成」を重要な観点の一つとして登載することを検討しており、オクシズ地域の交流人口の増加も重要なテーマとなると考えている。

## 党派

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(22人)  
創生静岡(8人)  
公明党=公明党静岡市議会(6人)  
志政会(6人)  
共産党=日本共産党静岡市議会議員団(4人)  
緑の党=緑の党グリーンズジャパン(1人)  
街づくり研究会(1人)  
※3面以降党派名は略称で表示しています。

## 語句説明

**静岡市みどりの基本計画**  
都市緑地法に基づき市が策定した、緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画で、みどり豊かで快適な都市形成を目指し、将来あるべき姿とそれを実現するための方策を示す計画。  
**みどりの相談所**  
専門員による園芸相談や植物の展示等を行い、植物園の役割の1つである都市緑化の普及啓発を担う施設。

## 学校統合の方針と旧学校施設の活用

質問者 尾崎 行雄(自民党)

学校と地域には深いつながりがあり、統合を進めるにあたっては地域事情を十分に考慮する必要があると考えるが、市の考えはどうか。また、統合により生じる旧学校施設に関して、検討の進め方や、民間企業等の利活用に向けた情報発信について市の考えはどうか。

【答弁】 学校は、地域の重要なコミュニティの核としての役割を果たしてきており、地域の意見を丁寧に伺いながら統合を進めてきた。今後も、願う子どもたちの姿を地域と共有し、未来を担う子どもたちの育成にふさわしい環境を整えていく。統合後の旧施設については原則売却の考え方の下、検討ルールに沿って庁内や地域住民の意向等を確認しながら、処分や活用の検討を進める。また、民間企業等の利活用に向けて広く情報発信を図っていく。

## 中部横断自動車道を活用した広域都市連携

質問者 高木 強(自民党)

中部横断自動車道の開通を契機に、本市がリーダーシップを発揮し、新潟県までの南北の広域都市連携を深めるべきと考えるが、市の考えはどうか。

【答弁】 静岡県から新潟県までの南北軸上には、本市の姉妹都市である新潟県上越市、友好都市の長野県佐久市、連携交流都市の山梨県甲府市など、関係性の深い自治体が多数あり、「ROUTE日本海—太平洋シンポジウム」の開催などで連携を図ってきた。引き続き、山梨県、長野県との早期開通に向け、沿線自治体と一体となって関係機関に強く要望するとともに、清水港の優位性をいかした取組や沿線への観光プロモーションの強化など、道路の整備効果がそれぞれの地域の活性化につながるよう、経済界とともに関係する自治体との連携を深めていく。

## 植物園構想の策定に向けた取組

質問者 堀 努(自民党)

平成29年の総括質問で、植物園は賓客を迎える際の記念植樹の場として活用することで、世界中の樹木や花々が鑑賞できる公園ともなり得るものと想定しているとの前向きな答弁があったが、植物園構想の策定に向け、今後どのように取り組んでいくのか。

【答弁】 3年度から3か年かけて改定する静岡市みどりの基本計画に本市が目指す植物園構想を位置づける。植物園の実現には、持続可能な施設や市民ニーズを踏まえた規模や内容、事業手法の検討が必要のため、次の取組を進める。①局間連携によるプロジェクトチームを立ち上げ、幅広い視点から方向性を研究する。②アンケート調査で市民ニーズを把握する。③みどりの相談所の開設に向け社会実験を実施し、持続可能で静岡市らしい植物園の実現を目指していく。

## 農業における労働力不足に対する取組

質問者 安竹 信男(創生静岡)

4年度の国に対する提案・要望書の中で、本市の農業は、農業従事者の減少や高齢化など危機的な状況にあるとしている。不足する労働力を確保するためにどのような施策を実施しているのか。

【答弁】 本市農業を担う経営体の確保に向けた施策として、①国の「農業次世代人材投資事業」を活用した新規就農者への生活支援②県やJAと連携し、生産技術の習得や農地の確保まで一体的にサポートする「がんばる新農業人支援事業」③国の「経営継承・発展等支援事業」を活用した、後継者が行う規模拡大や販路開拓、作業効率の向上に対する助成等を実施している。また、繁忙期等の一時的な労働力の確保のため、援農ボランティア事業を実施しており、令和3年11月末現在で131人の登録がある。

## 大道芸ワールドカップin静岡への思い

質問者 天野 正剛(街づくり研究会)

新型コロナウイルス感染症拡大により、本市の秋の風物詩である大道芸ワールドカップin静岡が令和2年から中止を余儀なくされている。本市の財産とも言えるこのイベントに対する市長の思いを聞きたい。

【答弁】 大道芸ワールドカップin静岡は、5大構想の1つである「まちは劇場」のベースとなったものであり、交流人口拡大、地域経済活性化に欠かせない取組の象徴である。感染症の拡大により令和2年からは中止しているが、時代の変遷やコロナ禍の活動の制約、生活スタイルの変化がある今こそ、新時代にふさわしいものにさらに成熟させたい。そのために、実行委員会や経済界の皆さん、専門家などから広く意見を聴き、議論を重ねて継承すべきは継承し、改善すべきは改善するという考え方のもと、将来ビジョンを描いていく。

## 海洋文化施設の経済波及効果見込み

質問者 風間 重樹(創生静岡)

早期再開を目指している海洋文化施設整備事業は、需要予測や経済波及効果がコロナ前に想定されていた数値と比べ大きく違ってくるはずである。経済波及効果の見込みはどのように変わるのか。

【答弁】 令和元年9月に本市が試算した本事業の経済波及効果は約601億円で、この試算の前提条件である分析対象は、①施設の建設費②施設の運営支出③来館者の支出である。現在の事業に関心のある事業者との意見交換では、事業の一時停止前に見込んだ需要予測を前提とした、当時の事業収支計画に基づき対話を行っていることから、現時点の経済波及効果も前回の試算と変わらない数値を見込んでいく。事業者の声も踏まえ、今後は、地元企業の本事業への連携、協力を促し、地域一体となって清水の経済発展に努めていく。

## 条例に基づく市民意見の聴取・反映

質問者 内田 隆典(共産党)

市は桜ヶ丘病院移転に関する市民説明会を開催しないとのことだが、静岡市自治基本条例第23条で市の説明責任を「市の執行機関は、市政に関する施策について、その立案、実施及び評価の各段階において市民にわかりやすく説明しなければならない。」「市民からの市政に関する質問、意見、要望等に対し、速やかに、かつ、誠実にこたえるよう努めなければならない。」と規定している。JR清水駅東口公園への移転を定めた基本協定書の締結について、市民意見の聴取及び反映を行うべきであったと考えるが、市の認識はどうか。

【答弁】 基本協定書は、市とJCHOとの間で桜ヶ丘病院の移転に関する基本的事項を定めたものであり、あくまで今後の交渉の基本的方向性を示したものであることから、市民参画手続きは必要ないと考えている。



両河内の風景

## 語句説明

### ROUTE日本海—太平洋シンポジウム

中部日本横断自動車道(中部横断自動車道と上信越自動車道)の整備促進・利用促進及び沿線地域の振興を目的に、静岡市、南アルプス市、北杜市、佐久市、上越市の5市により、輪番で開催されるシンポジウム。



### 子育て世帯の市営住宅への優先入居

質問者 加藤 博男(公明党)

市営住宅において子育て世帯の優先入居への応募が少ない要因として、間取りが子育て世帯の生活スタイルに合っていないことや、晩婚化やひとり親世帯の増加等による入居要件非該当が挙げられている。時代にマッチした子育て世帯への支援や、市営住宅の入居率向上のために、これらの課題の解決が求められるが、今後どのように子育て世帯の入居促進を図っていくか。

【答弁】 間取りが子育て世帯の生活スタイルに合わない点は、間取りの変更やバリアフリー化、ユニットバスの設置など子育て世帯が利用しやすくなるよう改修工事を行ってきた。入居要件の課題については、近年の子育て世帯の家族構成を踏まえ、4年度から新しい要件で募集できるよう、年齢要件などを見直すことで子育て世帯の入居促進を図る。

### ひとり親家庭支援事業の適切な実施

質問者 松谷 清(緑の党)

ひとり親家庭等総合サポート事業の委託先である静岡市母子専福福祉会では、パワハラ運営がきっかけで3年度職員が退職したと聞いており、事業の滞りを心配している。

委託事業のうち、①ひとり親家庭相談窓口設置事業と②母子自立支援プログラム策定等事業の月別報告書では、昨年度と比較して実施状況が適切か疑問であるが、これをどう評価するか。

【答弁】 事業①では、3年度7月までの相談は毎月5件程度、就労実績は無しと報告されており、前年比減の原因は不明である。事業②では、異なる月の報告に、同一人物の同内容の記載が見られるが、当初の支援メニューに基づき支援するため、個票と突合して記載内容に誤りがないことを確認した。

### 生活保護の制度周知と事務の実施状況

質問者 市川 正(共産党)

厚生労働省のホームページには、生活保護の申請は国民の権利と明示されたが、本市にはそうした記載がなく、市民への周知が必要と考えるがどうか。また、申請において心理的負担となるのが親族への扶養照会と考えるが、どのような点に留意して実施しているか。

【答弁】 生活保護を申請する人の心理的負担の軽減を図るため、ホームページや生活保護制度のパンフレットに生活保護の申請は国民の権利であることを表示するなど広く周知していく。扶養照会にあたっては、扶養義務の履行が期待できないと判断される者には直接照会を行わないとする取扱いに留意し、要保護者一人ひとりに寄り添い、丁寧に生活歴を聞き取ることで適正に扶養照会を行うとともに、生活保護を必要とする人がためらうことなく申請できるよう努めていく。

### 子育て世帯の優先入居

#### 子育て世帯の優先入居

市営住宅では子育て世帯の居住の安定を図るため、要件にあてはまる世帯の優先的な入居を前提とした募集を行っている。要件は、申込時、家族全員が40歳以下で、夫婦と小学6年生以下の子どもで構成された世帯などで、入居期間は最長10年間としている。



東新田高層団地

### 行政のデジタル化と窓口の対面サービス

質問者 杉本 護(共産党)

国が行政のデジタル化を押し進める中、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律が施行され、基準に適合したシステムの利用が自治体に義務付けられたが、標準化対象外の本市独自施策は対応可能か。また、デジタル化が進むことによって、窓口の対面サービスはどうなるか。加えて、デジタル化による行政運営の効率化に伴う職員の適正配置をどう考えるか。

【答弁】 独自施策への対応は、国が既に想定しており、システム内で個別設定する方法などで対応可能とされている。また、市民の利便性向上のため手続のオンライン化を進めるが、対面を要する業務についてはこれまで同様適切に対応する。職員配置については、社会情勢の変化を踏まえながら、市民サービス向上や新たな行政需要などに対応した適正配置に取り組む。

### 扶養照会

生活保護申請者の扶養が可能かどうか(扶養義務が履行できるかどうか)について、所管の福祉事務所が、申請者を支援する義務を負う一定範囲の親族に対して、問い合わせること。

### 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律

地方公共団体システムの標準化について、基本方針及びシステムに必要とされる機能等の基準や、標準化の推進に必要な事項などについて定め、住民の利便性の向上及び地方公共団体の行政運営の効率化に寄与することを目的とした法律。(令和3年9月1日施行)

### ノラ猫に関する相談への対応

質問者 長沼 滋雄(創生静岡)

餌やりによって集まったノラ猫に起因する住民間トラブルの相談に、どのように対応しているか。

【答弁】 相談の多くは餌やりによってノラ猫が増えることや排泄物によるものである。そこで、餌やりをする方に①餌を置いたままにしない、②自分の敷地にノラ猫用トイレを設置する、③ノラ猫が増えないよう不妊手術をすることの3つをお願いしている。不妊手術については、市獣医師会の「飼い主のいない猫の不妊手術助成事業」に対し補助金を交付し、自治会等が行う地域猫活動に対しても助成を行っている。こうした事業によって、殺処分数は平成17年度の2817頭をピークに、令和2年度は241頭と10分の1以下に減少し、相談件数も減っている。今後も市獣医師会や自治会等と連携しノラ猫の適正管理を推進していく。

### 地域猫活動

ノラ猫問題を地域の環境問題として考え、不妊手術をした猫を地域の住民の協力を得て、その地域で飼育管理すること。



## 主な議案

11月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。

### 令和3年度静岡市一般会計補正予算

#### 第4号 新型コロナウイルスワクチン接種事業 ほか

新型コロナウイルスワクチン接種事業は2回目のワクチン接種を終了した方に対する3回目の接種等を実施するにあたり必要な経費を確保するもの。

#### 第5号 子育て世帯臨時特別給付金給付事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯を支援するため、高校生までの子どもがいる世帯に対し、臨時特別給付金を支給するもの。

#### 第6号 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対し、臨時特別給付金を支給するもの。

#### 第7号 子育て世帯臨時特別給付金給付事業

子育て世帯を支援するための臨時特別給付金について、国の指針を受け、10万円を一括給付することに伴う事業費を増額するもの。

### 財産の交換について

桜ヶ丘病院の移転事業用地に供するとともに、本市の公共施設の整備事業用地に充てるため、土地を交換するもの。

### 議案に対する修正案を委員会に提出

12月8日の厚生委員会、都市建設委員会に、令和3年度一般会計補正予算(第4号)に関する修正案が提出されました。修正案は両委員会とも賛成少数で否決され、補正予算案は原案のとおり可決されました。

#### 【修正案の内容】

議案第169号令和3年度静岡市一般会計補正予算(第4号)のうちJCHOが所有する大内新田の土地と市が所有するJR清水駅東口公園の土地との交換に係る差額の受け入れに伴う財産収入と、基金への積立金を削除するもの。

### 議案に対する修正案を本会議に提出

12月15日の本会議において、委員会と同様の修正案が提出されました。修正案は賛成少数で否決され、補正予算案は原案のとおり可決されました。



補正予算の概要  
主な議案

※1については裏面「広報しずおか」2、3ページに関連記事有り。



※厚生委員会と都市建設委員会に提出された修正案については、4面参照。

# 常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

## 総務委員会

\*清水庁舎の位置の変更を規定した静岡市区の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の廃止について、静岡市自治基本条例に沿って、しっかりと市民参画手続を踏むべきである。また、条例の廃止は慎重に行うべきで、市民に対する説明責任を果たすべきであるとの意見などが述べられた。

## 市民環境教育委員会

\*学習用情報端末の購入について、教員がどのように工夫して端末を活用するかが課題であるため、教員への支援を含め検討されたい。また、端末が故障した際の修理費用で学校に負担をかけないようにするのと同時に、端末の更新時はリース等も検討されたいとの意見が述べられた。加えて、通信環境が整っていない家庭への対応を求める発言があった。

\*子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願について、請願項目には既に対応が進められているものや実現のハードルが高いものも含まれているため賛成しかねるとの意見の一方、請願項目は本来国が予算化するべきものであり、本市が国の流れを変えていくよう率先して取り組んでほしいと考えるため採択すべきとの意見が述べられた。

\*住民税非課税世帯臨時特別給付金給付事業について、コロナ禍で困窮している世帯に対して迅速に給付金を支給できるように全庁一丸となって対応してほしい。また、家計が急変した給付対象者が漏れなく給付を受けられるよう本事業を様々な方法で周知されたい。加えて、給付にあたってのシステム改修について、様々な状況に対応できるシステム開発、運用にも取り組まされたいとの要望があった。

## 都市建設委員会

\*修正案について、桜ヶ丘病院を津波浸水想定区域に移転させてよいのか、また、商業施設や庁舎と比較し回遊性やエリア全体の賑わいにつながるのか疑問であるため、土地交換に伴う都市整備基金の積立てに係る経費の削減に賛成するとの意見や、土地交換に伴う差額を清水駅東口周辺の利便性向上や今後の発展のために都市整備基金に積み立てることは妥当であり、賛成できないなど賛否それぞれ意見が述べられた。

\*大浜公園再整備事業について、市民への丁寧な説明や意見聴取のほか、民間事業者が運営しやすい環境を整えられたい。また、津波に対する懸念があるため、避難場所、収容人数、誘導方法など、災害に対する備えをしっかりと実施されたいとの意見が述べられた。

## 観光文化経済委員会

\*用宗漁港の胸壁整備が予定より遅れているが、関係者との連絡を密に着実に工事を進め、早期完成を目指すとともに、漁港の賑わいの妨げにならないよう工事に配慮されたいとの要望があった。

\*中央卸売市場は施設や設備の老朽化が顕著である。計画的な修繕で機能を維持し、設備等の更新時に機能の高度化を図るなど、市民への安全安心な食料品を供給する使命を果たしてほしい。また、冷蔵設備等のリース期間の変更は、半導体の入手困難など世界規模の影響によるものだが、今後も計画的に事業を進められたいとの発言があった。

\*文化財資料館閉館にあたり、展示ノウハウを静岡市歴史博物館に確実に受け継いでほしい。また、重要な教育の場としての使命を歴史博物館に移行することを市民に告知されたい。その他、閉館後の解体工事では、浅間神社の参拝客や周辺の車両、歩行者等に細心の注意を払ってほしいとの発言があった。

## 厚生委員会

\*桜ヶ丘病院移転に関連する土地の交換及び同交換に係る予算案・修正案、並びに同病院の移転に関する請願について、移転予定地は市民の利便性が高いなどJCHOの求める内容で合意に至っている。市民への説明責任は、これまでも情報提供に努めてきた。今後も必要な情報発信を期待するとの複数の委員の発言の一方、土地の交換に関し、津波浸水の危険性のある場所への病院移転には不信感をもっている。移転の理由が明らかでない。病院移転後の清水駅東口周辺のあり方も検討していくべきであるなどの発言があった。また、病院移転は見切り発車であるため、現時点では反対するとの発言や、ひっ迫する清水地域の医療体制の確保は誰もが望むもので、移転、新築の取組を進めることが重要として賛成するとの発言があった。

\*子育て世帯への臨時特別給付金は、対象者への周知と速やかな支給開始に努められたいとの要望があった。

## 企業消防委員会

\*改修工事を終えた葵消防署については、コロナ禍の状況を考慮しながら、広く市民の皆さんや子どもたちに本市消防行政の取組を見てもらえるような対応を求める。また、改修による女性消防職員の職場環境の改善を評価するとの意見などがあった。

\*分団庁舎を含む施設の改修は今後もアセットマネジメント基本方針などに従って行い、長寿命化や機能強化を図られたいとの発言があった。

### 11月定例会提出議案の会派別賛否一覧

11月定例会で審議した市長提出議案27件、議員提出議案3件、請願3件の審議結果は、次のとおりです。

(○=賛成、×=反対、△=賛否双方あり)

件名	会派名							議決結果
	自民党	創生静岡	公明党	志政会	共産党	緑の党	街づくり研究会	
令和3年度補正予算	※修正案 令和3年度静岡市一般会計補正予算(第4号)	×	○	×	×	○	○	否決
	原案 令和3年度静岡市一般会計補正予算(第4号)	○	×	○	○	×	×	可決
	令和3年度静岡市中央卸売市場事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度静岡市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度静岡市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	可決
条例の一部改正	令和3年度静岡市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市附属機関設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市自転車等駐車場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市職員の給与に関する条例及び静岡市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
条例の廃止	静岡市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
その他の議案	静岡市区の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市文化財資料館条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	可決
	財産の交換について	○	×	○	○	×	×	可決
	工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の廃止について(小瀬戸早稲田線)	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の変更について(門屋5号線ほか2路線)	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定について(山原37号線ほか2路線)	○	○	○	○	○	○	可決
	当せん金付証券の発売について	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	学習用情報端末の購入について	○	○	○	○	○	○	可決
	工事委託契約の締結について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市固定資産評価審査委員会委員の選任について(4件)	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案	静岡市議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡市議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	可決
	台湾の世界保健機関(WHO)への参加を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決
請願	国民健康保険料の引き下げを求める請願	×	×	×	×	○	×	不採択
	子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願署名について	×	△	×	×	○	×	不採択
	桜ヶ丘病院の移転に関する請願	×	○	×	×	○	○	不採択

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(22人)、創生静岡(8人)、公明党=公明党静岡市議会(6人)、志政会(6人)、共産党=日本共産党静岡市議会議員団(4人)、緑の党=緑の党グリーンズジャパン(1人)、街づくり研究会(1人)

※12月15日、創生静岡が修正案を提出



## 市議会議員と話そう！ 高校生との意見交換会開催

12月に3校の生徒の皆さんと、それぞれ提案いただいたテーマについて、活発な意見交換が行われました。  
(10月、11月開催分は1面に掲載)

12月21日開催  
城南静岡高校

**静岡市の魅力発見**  
職人たちの優れた技術が静岡の伝統工芸や文化につながっている。藍染工房でリメイクしたものを新たな気持ちで長く使うことはSDGsにつながる。  
駿府城下町には御用水が流れ、昔は様々な用途に利用していた。現在、水をいかした暮らしや文化が見直される中で、静岡の水を利用したエコジョーなまちに戻したい。



**静岡の人口減少とその対策**  
観光業を盛んにして静岡市に来る人を増やせば、商業なども発展し人口が増えるのではないかと。民泊が流行っているのに、民泊に協力してくれた人に補助金を出し、民泊できる場所を増やしたら良いと思う。



12月16日開催  
常葉大学附属橘高校



**女性の活躍支援**  
まずは子育て支援やサービスの制度が色々あることを知ってもらい、それを活用してもらうために情報の発信方法が重要だと思ふ。  
静岡市の子育て応援総合サイト「ちゃむしずおか」は見やすくなりやすいが、子育て世代に知られていない。  
子ども服売り場やおもちゃ屋など子育て世代がよく来る場所にポスターを貼るなどして周知したら良いと思う。



12月23日開催  
静岡市立高校



## 次回定例会のお知らせ

2月定例会は、令和4年2月4日から始まります。日程は次のとおりです。

会期 43日間(2月4日～3月18日)

開催日	会議名	場所
1月28日(金)	議会運営委員会	第2委員会室
	議案説明会(補正予算案等)	議場
2月4日(金)	本会議	議場
	議会運営委員会	第2委員会室
8日(火)	本会議	議場
9日(水)	厚生委員会	第1委員会室
	観光文化経済委員会	第2委員会室
	都市建設委員会	第3委員会室
10日(木)	総務委員会	第1委員会室
	企業消防委員会	第2委員会室
	市民環境教育委員会	第3委員会室
15日(火)	議案説明会(当初予算案等)	議場
17日(木)	議会運営委員会	第2委員会室
	本会議	議場
25日(金)	議会運営委員会	第2委員会室
3月1日(火)	本会議(総括質問)	議場
	本会議(総括質問)	議場
	本会議(総括質問)	議場
	本会議(総括質問)	議場
8日(火)	総務委員会	第1委員会室
	企業消防委員会	第2委員会室
9日(水)	市民環境教育委員会	第3委員会室
	厚生委員会	第1委員会室
10日(木)	観光文化経済委員会	第2委員会室
	都市建設委員会	第3委員会室
	議会運営委員会	第2委員会室
17日(木)	議会運営委員会	第2委員会室
18日(金)	本会議	議場

※日程は変更になることがあります。  
(最新情報は、市議会ホームページでご確認ください。)  
※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。

## 総括質問 ダイジェスト版放送

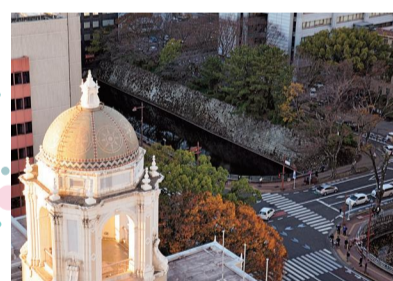
2月定例会について、下記の日程でコミュニティFMラジオ局での放送を予定しています。  
※日程は、変更になる場合があります。

FM-Hi 76.9MHz  
マリンパル 76.3MHz

令和4年  
3月7日(月)～11日(金)  
午後8時から9時まで



西日が差し込む議会棟



## 皆さんの声をお聞かせください！ 市議会だよりのアンケートを実施

静岡市議会では、市民の皆さんに開かれた議会を目指しています。  
そこで、皆さんのご意見を参考に、より効果的で親しみやすい市議会だよりとするため、アンケート調査を実施します。

右のQRコードを読み込み、ご回答ください。  
(所要時間は5分程度です。)



次回、「しずおか市議会だより(令和4年2月定例会号)」は令和4年6月1日発行予定です。

(編集元) 静岡市議会事務局

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

議会総務課 ☎(054)221-1158

議事課 ☎(054)221-1159

調査法制課 ☎(054)221-1481

FAX.(054)251-9213

静岡市議会 🔍検索

静岡市議会ホームページアドレス

[https://www.city.shizuoka.lg.jp/000\\_000260.html](https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_000260.html)

市議会クイズ A:防災用 折り畳みヘルメット

## 市議会クイズ オレンジ色の袋

**【問題】**  
議場内の議員席や傍聴席など全ての座席には写真のようなオレンジ色の袋が備え付けられています。  
さて、この袋には何が入っているでしょうか。



**【ヒント】**  
答えは、この下の「防災訓練」の写真中に映り込んでいますよ。  
※答えは最下段中央参照

## 本会議中に地震が起きたら!?

市議会では、11月12日の議案説明会終了後、本会議中に大地震が発生したことを想定した避難訓練を行いました。

議員は、書類等で頭部を保護するなど身を守る行動をとった後、議員席に備え付けられたヘルメットをかぶって中庭に避難し、避難経路を確認しました。

あわせて、消防局救急課及び葵消防署の指導のもと、AEDの取扱いを含む応急救護訓練も行いました。



防災訓練